



クリスマス飾り



総合体育館に設置された高さ5mのクリスマスツリーに認定保育園当別夢の国の園児120人が飾り付けを行いました。

飾りは園児による折り紙で、金色の鐘やプレゼントを入れる靴。

家庭で飾ることが出来ない大きなツリーを見上げ、「サンタさんほんとに来るかな。」と心待ちにしていました。

(12月10日)

税金のない社会って？



町職員が講師となって税金の大切さを学ぶ「租税教室」が当別小学校の6年生児童(101人)を対象に行われました。

税金は何に使われているのか？税金の種類は？当別町の年間予算と小学生の教育にかかるお金の話など、クイズ形式で学びました。税金がなくなった社会を想定したアニメビデオを観た児童たちは、「税金がなくなったら、消防、警察など必要な時も、有料になってしまう。それでは大変。」「将来、大人になったらしっかり税金を納めたい。」と感想を出し合っていました。

(11月26日)

大澤勉さんに文科大臣賞



昨年9月30日で教育委員を退任された大澤勉さん(六軒町)に文部科学大臣より地方教育行政功労者表彰が贈られました。

大澤さんは昭和63年10月より24年間、教育委員(内13年間は同委員長)として、町の教育行政の中心的な役割を担ってきました。また、北海道町村教育委員会連合会会長、全国市町村教育委員会連合会副会長など要職も歴任。「任期中には、小中学校の統廃合で地域の特色を失わないよう話し合いを進め、社会教育施設は整備を進め、文化活動が広がりました。」と語りました。(12月4日)



農商工連携で新商品を



地域資源を活かして農業生産者と商工業者が連携した商品を生み出そうと石狩振興局が主催し、当別町の共催で、セミナーが開催されました。

北海道の物産、ギフトの販売で活躍している杉山隆さんの講演で、消費者の立場に立った加工方法、北海道のイメージを大切にしたい商品化のポイントなどを聞きました。このほか、とうべつぶらんで認証商品を開発するまでの体験談や、当別町肉牛振興会が商品化した町内産黒毛和牛を使ったビーフカレーが紹介されました。

(12月4日)

スマッシュで締めくくる



当別町卓球協会（安達史子会長）主催の第28回会長杯卓球大会が総合体育館で開催されました。

会長杯は年を締めくくり、成長度を見る重要な大会で、男女のシングルス、ダブルスなど、6種目に中学生から80歳代までの90人がエントリーし、町内大会ながらも石狩市や札幌市、新篠津村のほか遠くは滝川市からの参加もありました。

ロンドンオリンピックを思い起こすような長いラリーもあり、ゲームでの技と駆け引きに、他の選手も息を殺して応援していました。

(12月9日)

お餅大好き！



町立西保育所で恒例のお餅つきがありました。

用意された当別産のもち米は3升。園児35人と保護者が、順番に力強く3升のお餅をつき、みんなで丸めてきな粉と砂糖醤油で食べました。つきたてのお餅はとてもよく伸び、子ども達も大好き。

お父さんが勢いよくつくると、園児達が「餅つきの歌」を元気に歌って応援。最後の1升はのし餅になり、この日の給食メニュー、カウどんに入りました。(12月9日)

**正くんファミリーは
今月お休みします**

広 告

広 告

広 告

広 告